



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月20日

上場会社名 株式会社DNAチップ研究所 上場取引所 東
 コード番号 2397 URL <http://www.dna-chip.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 的場 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 堀川 裕司 TEL (03) 5777-1700
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	36	97.0	△64	—	△64	—	△64	—
29年3月期第1四半期	18	△45.6	△78	—	△78	—	△79	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△15.27	—
29年3月期第1四半期	△18.71	—

(注)平成29年6月30日の潜在株式調整後1株当たり当期四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	409	353	70.9
29年3月期	483	418	73.5

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 290百万円 29年3月期 355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	490	50.9	5	—	5	—	3	0 71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	4,237,700株	29年3月期	4,237,700株
----------	------------	--------	------------

②期末自己株式数

30年3月期1Q	94株	29年3月期	94株
----------	-----	--------	-----

③期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	4,237,606株	29年3月期1Q	4,237,651株
----------	------------	----------	------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期損益計算書関係)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が継続しているものの、新興国の経済停滞、欧米の新政権発足や中東・東アジア地域における地政学リスクの高まりなどもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下において当社は、方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、研究受託事業の成長と診断事業の差別化への取り組みにより、当事業年度の売上高 490 百万円(前年比 150.9%)を目標に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は 36 百万円(前年同四半期比 197.0%)となりました。利益面では、営業損失 64 百万円(前年同四半期 78 百万円)、経常損失 64 百万円(前年同四半期 78 百万円)、第1四半期純損失 64 百万円(前年同四半期 79 百万円)となりました。

事業部門別事業状況は次のとおりです。

【研究受託事業】

研究受託事業におきましては、大学や研究機関、製薬・食品会社等を主要な顧客としてとして、遺伝子解析のサービスや解析結果の統計処理のサービスを提供しております。主要なサービスとして、マイクロアレイ受託解析サービスと次世代シーケンス解析サービスがあります。

①受託解析サービス

マイクロアレイを使用した受託解析サービスでは、製薬・食品会社等の顧客に積極的な提案型営業を行うとともに、大学病院、研究機関等の顧客には、きめ細かなフォローを推進しております。また、「デジタルPCR受託サービス」や「再生医療研究分野に向けた間葉系幹細胞の品質評価解析サービス(C3チェックサービス)」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

②次世代シーケンス解析サービス

次世代シーケンス解析サービスでは、顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析及びサポートに力を入れております。また、「16S rRNA細菌叢解析」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

いずれのサービスにつきましても、他社との差別化を意識し、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り組んでおります。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は、33 百万円(前年同四半期比 213.5%)となりました。

【診断事業】

診断事業におきましては、血液を用いて肺がんの遺伝子変異を検査する「EGFR-NGSチェック」の市場への普及を当社の最優先事項として取り組んでおります。現在この検査の薬事承認、保険収載を目指した活動を行っております。こうした活動によって「EGFR-NGSチェック」を、日本ではじめて次世代シーケンス技術を用いた薬事承認検査としていくことを目標としております。

また、DNAだけでなく、RNAチェックの代表検査として「免疫年齢」(免疫細胞の加齢遺伝子の働き具合から体内年齢を予測する検査)及び「リウマチチェック3」(関節リウマチの薬剤効果予測検査の多剤効果予測検査)につきましても、販促活動を強化しております。同時に遺伝子解析を用いたうつ病の診断技術の開発も積極的に進めております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は、2 百万円(前年同四半期比 89.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて 75 百万円減少し、402 百万円となりました。これは、現金及び預金 52 百万円、受取手形及び売掛金 34 百万円が減少したことなどによるものですが、仕掛品 3 百万円、貯蔵品 4 百万円などの増加もありました。

固定資産は、前事業年度末に比べて 1 百万円増加し、7 百万円となりました。これは、研究用機器の購入などにより 1 百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて 73 百万円減少し、409 百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、50百万円となりました。これは、「その他」の流動負債12百万円の減少によるものですが、買掛金3百万円の増加もありました。

固定負債は、前事業年度末に比べて増加し、5百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、56百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて64百万円減少し、353百万円となりました。これは、四半期純損失64百万円によるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては現時点において、平成29年4月20日の「平成29年3月期 決算短信」に公表いたしました業績予想に修正はありません。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知置きください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	355,213	302,780
受取手形及び売掛金	112,549	77,970
商品	0	57
仕掛品	240	3,451
貯蔵品	1,272	5,896
その他	8,260	12,359
流動資産合計	477,536	402,516
固定資産		
有形固定資産	0	1,860
無形固定資産	771	746
投資その他の資産	4,773	4,566
固定資産合計	5,544	7,174
資産合計	483,081	409,690
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,365	25,492
その他	37,441	25,325
流動負債合計	59,807	50,817
固定負債		
引当金	4,881	5,209
固定負債合計	4,881	5,209
負債合計	64,688	56,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,400,024	1,400,024
資本剰余金	1,312,574	1,312,574
利益剰余金	△2,357,440	△2,422,169
自己株式	△68	△68
株主資本合計	355,089	290,360
新株予約権	63,303	63,303
純資産合計	418,392	353,663
負債純資産合計	483,081	409,690

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	18,356	36,166
売上原価	38,355	40,515
売上総損失(△)	△19,999	△4,349
販売費及び一般管理費	58,879	60,214
営業損失(△)	△78,878	△64,564
営業外収益		
受取賃貸料	27	93
その他	45	-
営業外収益合計	73	93
営業外費用		
為替差損	2	20
営業外費用合計	2	20
経常損失(△)	△78,808	△64,491
税引前四半期純損失(△)	△78,808	△64,491
法人税、住民税及び事業税	484	237
法人税等合計	484	237
四半期純損失(△)	△79,292	△64,728

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

売上高の季節的変動

当社は、事業の性質上、売上高が第4四半期会計期間に集中する傾向があり、各四半期会計期間の業績に季節的変動があります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。